

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年 3月 28日

事業所名 放課後等デイサービスいーず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		基準は満たしているが、多目的ホールに改善が必要
	2	職員の配置数は適切である	6	0		設置基準上は適切であるが、特に長期休みなどは人員不足を感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		車いすの子のトイレ介助は難しい点もあるため、必要に応じて改修を検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0	6		業務についてはその担当者の仕事という認識が強いので、全職員が能動的に業務改善に関わっていくよう4月より人事を再体制する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修参加の一覧表を作成している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		子どもの状態を全スタッフで把握した上で、終業後のミーティングで明日以降のシナリオ、スケジュールを作っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		送迎の担当になると全員揃ってできないこともあるため、必ず伝達ができるよう4月より管理の担当者を配置する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		送迎の担当になると全員揃ってできないこともあるため、必ず伝達ができるよう4月より管理の担当者を配置する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	3		記録が検証や改善に役立っていない時があるため、4月より記録用紙を改定する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	利用児童が多くミスが生じることもあるため、4月より管理責任者を配置する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—	まだ移行者がいないが、今後必要な時には情報提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	3	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	6	ペアトレのプログラムは実施していないが、適宜関わり方への助言を行っている。また今後家族会でも取り入れていく予定
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4	相談に対してどのように進めていくかの話し合いができていない場合もあるため、4月より担当者を配置する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	R2.2.22家族会を発足
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	6	SNSを使って情報発信していく。お知らせなどは適宜作成し、保護者に配布している
	35	個人情報に十分注意している	5	1	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	行事を行っていないため招待する機会はないが、研修会を企画したり、民生委員に発達障害の講和をさせていただいたりしている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	6		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	半年に一度、地震、火災を想定した避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止・権利擁護研修に参加し、法人内で共有している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		口頭での説明のみだったため、今年度より支援計画書へ追記した
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6		家庭調査票にて把握はしているが、医師の指示書は確認していないため、今後確認していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	アクシデント・インシデント報告書の作成、法人内で回覧している	